

## 「カノープスに挑む(5)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

カノープスは全天2番目の輝星なので、地平線の上にさえ出ていれば、必ず見えるはずである。探し方はいくつか知られている。私は、星図をよく暗記して、「オリオン座→うさぎ座→はと座→カノープス」と、南にゆるやかな弧を描くようにたどる方法が良いと思った。こうした「特定の恒星の見つけ方」は、現地では確かめるのが難しい。観測に行く前に、よくイメージトレーニングをしておいたほうが良い。



「オリオン・おおいぬ・うさぎ・はと」

2016,12,31 / 23:30 孺恋村仙之入 C.Tanaka

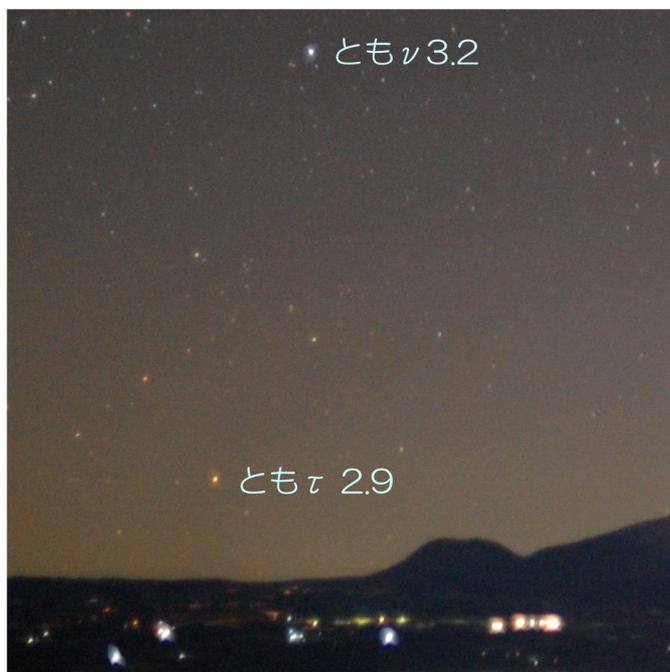
ニコン D40 / 18mm / 高橋 P2 赤道儀

この写真も現地で撮ったものである。オリオンからカノープスのあるりゅうこつ座近傍まで全空域が写っている。現地で全天恒星図と照合した結果、写真の○のあたりにカノープスが見えるはずである。



現地では最初、写真の↓の星がカノープスだと思った。地平高度もちょうど $1^\circ$ ほどである。カノープスは、本来非常に明るく、白色の輝星である。しかし、地平線に近いので「大気減光」によってかなり暗くなる可能性がある。また、夕日が赤く見えるのと同じように、高度の低い星は赤っぽく見える。そう考えると、カノープスに見えてくるのだ。「ああ何だ、意外と簡単に見えたな」と、正直少し拍子抜けした。

しかし、それらを考慮しても、この星はあまりにも暗い。私は双眼鏡を使って、もう一度この星を観察した。やはりこの輝き方は、カノープスではなさそうだ。私は、勘でそう思った。勘は大切である。



私は一旦車に戻って、撮った写真をパソコンで検証してみた。恒星図と照合すると、カノープスと誤っていた星は、とも座 $\tau$ 星で等級も2.9等とわかった。カノープスは-0.7等なので、 $(2.5)^{3.6} \approx 27$ で、実視等級は「とも $\tau$ 」の27倍もあるはずである。そんな明るい恒星は見なかった。やはり、地平線下なのか？